

事務事業名	コード	42100 大原幽学記念館管理費(活動費含む)	予算科目	会計 一般	款 10	項 4	目 11	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業
基本施策	13	芸術文化の振興・伝統文化の保存	根拠法令	文化財保護法、博物館法、大原幽学記念館の設置及び管理に関する条例					
施策の展開	27	文化財の保護	戦略事業	131 大原幽学関係資料の保護・保存					
施策の展開			戦略事業						

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 7 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	大原幽学及び郷土の歴史・民俗等に関する資料を収集・保管・展示を行うことで地域文化の向上に寄与するため、古文書調査の実施、収蔵庫内の管理、企画展示や講座の開催を行う。【活動経費】臨時職員2名(館長・事務員)の賃金、講師や研究員の謝礼、印刷物の作成費などがある。【維持管理業務】記念館は敷地面積1,531.5㎡、延べ面積1,134.28㎡の鉄筋コンクリート地上2階建の施設で、展示室、収蔵庫、学習室などからなっている。国指定重要文化財の大原幽学関係資料を中心とする郷土の歴史・民俗資料の保存・管理や来館者の対応のため、設備の保守・整備を行う。保守点検(浄化槽・受電設備・消防設備・エレベーター)、館内清掃、くんじょう作業を含む館内環境調査、ネズミ防除を業者に委託している。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
大原幽学関係資料が国指定重要文化財となり、専門職員をおいた保存公開施設が必要となったため、平成8年3月に記念館が開館し、博物館施設としての業務が行われるようになった。	新しく発見された古文書などがあり、国指定重要文化財の追加指定を目指す。継続して調査、研究を行っている。・記念館が立地する遺跡史跡公園内にあったキャンプ場が平成21年度で廃止。農水産課が同公園で実施する交流事業は平成19年度から開始したが、事業数・参加者数が減っている。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
・施設利用者の方から「障害者や高齢者の使用料免除がなく不満」、「せっかく良い展示があるのにPRが足りない」。地域の子どもたちにもっと利用してもらってはどうか。」との意見がある。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算) 単位:千円						
1.賃金	2,759	記念館長、用務員賃金	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)
2.報償費	924	講師謝礼、研究員報償費	2,685	2,685	2,685	2,759
3.需用費	6,956	光熱水費、修繕料、消耗品、印刷費、図書購入、ガソリン代	853	858	852	924
4.委託料	2,021	保守(浄化槽・受電・消防・エレベーター)、消毒、ネズミ防除、清掃	4,940	4,214	4,093	6,956
5.その他	1,578	旅費、役務費、使用料、賃借料、備品	2,175	2,214	2,213	2,021
② 特定財源の内訳(29年度の決算) 単位:千円						
1.国庫支出金	0		1,341	1,435	1,356	1,578
2.都道府県支出金	0		11,994	11,406	11,199	14,238
3.地方債	0					11,675
4.その他	556	入館料				

事業費	1.賃金	千円	2,685	2,685	2,685	2,759	2,818
	2.報償費	千円	853	858	852	924	941
	3.需用費	千円	4,940	4,214	4,093	6,956	4,147
	4.委託料	千円	2,175	2,214	2,213	2,021	2,156
	5.その他	千円	1,341	1,435	1,356	1,578	1,613
事業費計(A)		千円	11,994	11,406	11,199	14,238	11,675
財源	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円		603	566	556	594
	5.一般財源	千円	11,994	10,803	10,633	13,682	11,081

前年度増減理由	館内空調機修理のため増額となった
---------	------------------

従事職員数	常時 2人	最大	人	×	日	=	延べ	0人
-------	-------	----	---	---	---	---	----	----

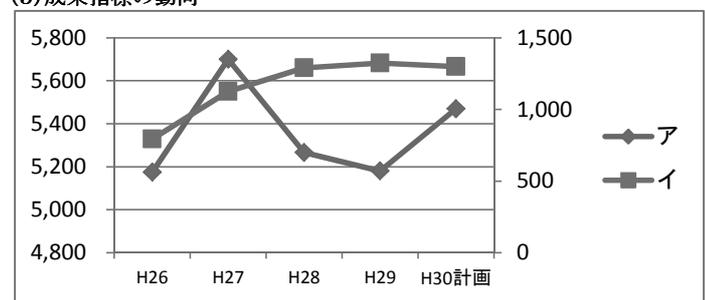
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動) ・企画展「旅する幽学」開催 ・文化財調査事業 ・古文書講座・茶道教室・体験講座		ア 記念館開館日数	日	302	305	301	295	305
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	イ 講座・企画展開催回数(延べ)	回	79	85	91	90	85
	対象意図 市民、観光客 記念館へ来館することにより、郷土の偉人である大原幽学の活動や業績を知ることができる。 対象意図 市民 地域の歴史や文化財に対する理解が深まる。		ア 大原幽学記念館の年間入館者数	人	5,175	5,700	5,266	5,180	5,470
			イ 講座受講者延べ人数(学習機会をもった利用者がどれくらいいるか)	人	793	1,125	1,291	1,324	1,300

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果				
施策貢献度	大きい	成果向上余地	評価優先度	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	普通	かなりある		①		
	小さい	ある程度ある		②		(9)
		ほとんどない	③			
			④⑤			
			⑥			
			⑦⑧			
			⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ のタイプ
③ 今年度取組事項	時期 平成31年3月 内容 史跡大原幽学遺跡整備基本計画策定に向けて、計画策定委員会の組織化及び計画素案の作成
④ 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> その他
⑤ 成果動向	比較 25年度 26年度 27年度 28年度 29年度 30計画
⑥ 評価内容	ア 512 525 Δ434 Δ86 290 イ 18 332 166 33 Δ24
⑦ 注釈	館内空調故障により、記念館を一定期間臨時休館としたことから入館者数の減
⑧ 参考	平成30年度 歴史資料の保存・調査の成果を展示やPRに活用し、多くの市民に郷土の歴史に親しんでもらえるようにする。